

## 『第1回北部地区地域ケアネットワーク会議を開催』

### “地域の見守り支援”について意見交換を行いました

令和2年10月27日(火)に、第1回『北部地区地域ケアネットワーク会議』を開催し、13名で意見交換を行いました。

北部圏域で認知症等の高齢者が行方不明になり、SOSネットワークのメール配信、ケアマネジャーや地域住民等から当センターに問い合わせのあった件数が増加傾向にあります。このような状況に対応していくためには、北部圏域の支え合いや見守り活動を高めていくこと、また北部圏域独自の取り組みを検討していくことが必要と考えました。

#### ◇講話◇

北見警察署の吐師様より「地域の見守り支援について」と題して、行方不明になった高齢者が警察に保護された件数、事例をもとに警察への届け出が遅くなっている理由や届け出が早いことでのメリットなどのお話をいただきました。また、高齢者問題として、自殺の増加や精神疾患の方の通報の増加、運転免許の返納がすすまない現状等についてお話がありました。

#### ◇意見交換◇

「地域の困りごと」、「事業所として協力できること」をテーマに話し合いを行いました。

発表では、困りごととして交流の場がない、認知症の疑いがある方への対応、個人情報保護のため情報共有ができない、家族が認知症を理解していないなど多くの困りごとが浮き彫りになりました。事業所としてできることは、警察や当センターへの情報提供と意見がありました。どこに連絡をしたら良いか、どのような場合に連絡をしたら良いのかがわからないとの声が多く、当センターの地域住民への周知や、認知症の理解を促す事業の開催が今後の課題となりました。

#### 地域ケアネットワーク会議

地域住民と福祉の専門職が、地域の困りごとを共有し、課題解決の仕組み作り(地域に不足している資源やサービス、連携体制等の構築)を考える。



よりよい地域をつくるため、  
来年度もご協力よろしく  
お願いいたします。

## 元気アップ講座「介護予防大作戦！」

### ～「脳・運動・生活」3つの視点で健康寿命をのばそう！～

令和2年10月15日(木)から、高栄西町地区にて「元気アップ講座」を開催しました。全6回の講座では、理学療法士や管理栄養士、歯科衛生士といったそれぞれの分野の専門家に講話をいただき、参加者からは「とても勉強になった」との声が聞かれました。毎回の講座終了後には、北見市の理学療法士会が考案した「きたみんと体操」を行い、「転倒予防のちょうどいい運動になる」といった声をいただきました。

令和2年11月19日(木)に全日程を終了しましたが、「今後も介護を受けないように」という声も聞かれ、元気アップ講座をきっかけとして、介護予防の取り組みを続けていただきたいと思います。



きたみんと体操の様子

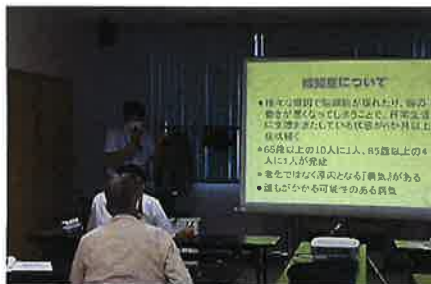
## 「高栄西地区認知症サポーター養成講座」開催！！

～今日からあなたも認知症サポーター～

令和2年9月10日(木)、当センター内にある高齢者生活相談所団らん室で、認知症の症状や接し方などを学び、声かけや見守り方法を体験するため、「認知症サポーター養成講座」と「行方不明者搜索模擬訓練」を開催しました。

当日は19名の方が参加され、その内10名が初めて参加された方でした。

アンケートの中で「具体的な組織づくりなどに参画したい」、「知識を継続させるための研修会に参加したい」と回答いただいた方が多く、今後も認知症サポーターになった皆さまと一緒に「認知症になっても安心して暮らせる地域」を作っていきたいと考えています。



## 「美山地区みまもり声かけ体験」 - 認知症のひとを温かく見守り支える -

令和2年9月19日(土)、美山小校区ふれあい会と共催で、「行方不明者搜索模擬訓練」と「ふまねっと」を開催しました。認知症予防についてや声かえのポイント、認知症の人との接し方についての理解を深めたのち、声かけや見守りの方法を体験するため、3グループに分かれて搜索模擬訓練を行いました。メール配信の内容を確認しながら行方不明者役の方の様子を観察し、優しく声掛けをされていました。

ふまねっと運動は初めてという方がほとんどでしたが、「実際に身体を動かすと、頭で考えているようにはできなくて難しかった」といった感想が聞かれました。



## 北部地区で心がほくほくする場 「オレンジ交流会～つどいの広場北ほく～」

認知症の人や家族が孤立せずに生活することができる地域づくり活動の場として、令和2年10月1日(木)に「オレンジ交流会～つどいの広場北ほく～」を開催しました。

当日は10名の地域住民が参加され、ゲームで盛り上がり交流を深め、「きたみんと体操」で楽しみながら身体を動かしました。運動をしたいという希望が多くあったことから、今後は交流とのバランスも考えながら身体を動かすゲーム等も取り入れ、認知症の人や家族が地域とのつながりが持てる機会を作っていきたいと思えます。



## 『北部地区支え合いの地域づくり会議(第2層協議体)』の新たな委員

美山地区の委員が欠員となっておりますが、7月16日付でサービス付き高齢者向け住宅「緑の丘式番館」の松本大吾施設長が就任されましたのでご紹介いたします。

☆松本 大吾さんにお話を伺いました

7月より委員になりました、松本 大吾(まつもと だいご)と申します。経験豊富な先輩委員の皆様から教を乞い、地域の皆様とともに歩むことができる委員となる事を目指します。若輩者ですが、よろしくお願い申し上げます。

